

「名古屋工業大学 セラミックス基盤工学研究センター年報 論文投稿規則」

1. 投稿資格

投稿資格は、名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター職員または職員が共同執筆者であることを条件とする。ただし、編集委員会による原稿依頼の場合はこの限りではない。

論文は研究課題に関するものとする。

2. 報文の種類

報文の種類は、(1) 学術論文（原著に限る。）、(2) 解説論文、(3) 総説論文、(4) 技術報告とする。

3. 報文の構成

報文の構成等はそれぞれの分野の慣例に従うものとする。

4. 原稿の書き方

論文執筆要領については別に定める。

5. ページ数の制限

以下のページ数はすべて刷り上がりのもを示す。ただし、編集委員会で認められた場合にはこの限りではない。

論 文 原則として 10 ページ以内

解 説 原則として 10 ページ以内

総 説 原則として 10 ページ以内

6. 提出先

原稿の提出先は名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター編集委員会委員長とする。そこで受理した日を原稿受付日とする。

7. 提出期限

毎年度 1 月 31 日とする。

8. 採否

投稿原稿はすべて名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター年報編集委員会で審議する。ただし、学術論文は、名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター年報編集委員会が委嘱する査読者 2 名の審査を受ける。査読者の意見に基づき、学術論文の採否を編集委員会で決定する。編集委員会における採択決定日を受理日とする。解説論文、総説論文、技術報告に関しては、編集委員会の校閲を受けた後、編集委員会で掲載決定する。編集委員会における採択決定日を受理日とする。

9. 原稿の責任と権利

掲載された論文等の内容についての責任は著者が負うものとする。また、その著者権は著者に属する。編集著作権は名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センターに属する。

編集後記

平成21年度、センターでは、耐震工事にともなうA棟の補修工事と研究室移設があり、年度のほとんどの期間で、教職員は3箇所（多治見市旭ヶ丘、本町、および名古屋市御器所）に分かれて活動するという異例の年であった。また、センターの発足9年目の区切りとして外部評価を受け今後の展開を図るべく努力をしてきました。各種のプロジェクト参加や補正予算等での国の事業に参加し、センター活動は充実してきているが、それだけに大学の業務遂行には多忙さが増してきている。

本年も年報の出版費用について広告掲載費による充当を行い、世情の厳しさにもかかわらず掲載いただき厚く御礼申し上げます。

年報に掲載している研究教育活動や社会活動報告で、センター活動の一端を知っていただきご活用いただければ幸甚です。今後とも、センターにご支援賜りますことをお願いいたします。

編集委員

石澤伸夫 太田敏孝 小澤正邦 藤 正督
井田 隆 安達信泰 羽田政明

アドバイザーボード (Advisory Board)

客員教授 半澤 茂 (日本ガイシ株式会社)
客員教授 泉 富士夫 (NIMS)

名古屋工業大学
セラミックス基盤工学研究センター年報 Vol.9

平成22年3月31日発行

責任編集者 小澤正邦 (名古屋工業大学セラミックス
基盤工学研究センター)

発行所 名古屋工業大学
セラミックス基盤工学研究センター
〒507-0071 多治見市旭ヶ丘 10-6-29
電話 (0572) 27-6811 FAX (0572) 27-6812
URL <http://www.crl.nitech.ac.jp/>

印刷所 株式会社コームラ
〒501-2517 岐阜市三輪ぷりんとびあ3
電話 (058) 229-5858
